



## 第2回 アクセシブルデザインでワクワク社会に

3連休の中日、巨大台風一過の令和元年10月13日に実践色彩講座2019第2回講座を開講しました。視覚障害者のための色彩学に接することができて、ワクワクが止まらない講座だったとの感想を頂きました。森本一成(京都工芸繊維大学 名誉教授)

### ①篠田博之氏(立命館大学 教授) UDの必須基礎知識としての知覚特性と情報処理機構



見たい視覚情報を人はどのように知覚するのか。事例と体験を通してその仕組みを理解できた。色知覚については周辺視での彩度低下の実験データが紹介された。いつものことながら、受講者の関心を途切れさせない絶妙のワクワク講演であった。

### ②河本 けい氏(川崎医療福祉大学 准教授) 色覚異常を持つ人の日常生活における不利益



色覚検査は色弁別特性を診断するだけで色知覚の検査ではないが、自らの色覚特性を知り、色覚異常に早く気づき適切なアドバイスを得ることで、日常生活の不便を軽減できることなどが紹介された。色覚検査と色知覚の関係性の研究の発展に期待が膨らむ講演であった。

### ③佐川 賢氏(産業技術総合研究所 名誉フェロー) 色を楽しむアクセシブルデザイン 触って分かる衣服の色タグ “いろポチ”



全盲視覚障害者が衣服の色を自分で識別できる触覚色彩タグの研究開発の詳細を紹介された。きっちりと論理立てられた評価実験に基づく検討を積み重ねて着実に開発を進めたプロセスは、研究開発者にとって非常に有益な内容であった。実際の色タグに触って体験することができ、ワクワクの止まらない講演であった。

■11/9 第3回「姫路城の白壁から学ぶ修復技法と白の魅力」平成だけでなく昭和の大修理の映像も見せていただけることになりました。またとない機会です。ご期待ください。

■12/14 第4回「自然色を学ぶ ～育てる・味わう・測る～」自然色の持つ深い表現に触れます。

<http://www.color-science.jp/branch/kansai/img/20190906.pdf>



# 関西支部 実践色彩講座 2019

考える  
わかる  
使える "色彩学"

